

日本企業関係者の皆様へ

旧宗主国ポルトガルからの独立とその後の長期にわたる内戦を経て、モザンビークに平和と安定が訪れたのは、今からわずか20数年前の事。

政府がかつて標榜した社会主義を捨て、国営企業の民営化、貿易自由化、外国投資誘致等を積極的に推進した結果、モザンビークの経済成長はここ数年間平均7%前後を維持し続けています。

南アフリカや欧州企業の進出が相次ぐ中、1998年、三菱商事(株)がモザール・プロジェクト(アルミニウム精錬)に参画して以来、いくつかの日本の企業・商社等が進出あるいは投資を検討しています。

一方、2000年代に入り、北部を中心に良質な石炭(主に原料炭)の開発が進み、また世界的にも最大級の海洋ガス田が発見され、資源・エネルギー関連企業による進出・投資意欲も高まっています。

当館では、モザンビークへの事業展開に関心を有するものの、日本で得られる情報が少ないため、なかなかビジネスの検討を進められず苦慮されている日本企業の皆様に対し可能な限り現地の情報等を提供させて頂きたいと思っています。

(参考)

モザンビークへ進出・投資している主な日本企業(当館把握分、進出順)

- 三菱商事(アルミニウム精錬) 1998年～
- 三井物産(天然ガス開発) 2008年～
- 日立建機(建機販売・メンテナンス) 2010年～
- 新日鉄住金・日鐵商事(石炭開発) 2010年～
- 双日(木材チップ製造) 2011年～
- 金城産業(中古車販売) 2012年～
- 日本植物燃料(バイオ燃料開発) 2012年～
- 国際石油開発帝石(石油ガス田開発) 2013年～
- シマ商会(中古車販売) 2013年～

当館問い合わせ先(日本企業支援担当)

TEL: (+258) 21499819または 21499820

FAX: (+258) 21498957

MAIL: business-support@mp.mofa.go.jp